2016年4月

東京ガーデニングスタイル
TOKYO GARDENING STYLE

スコラロパラソル組立・取扱説明書

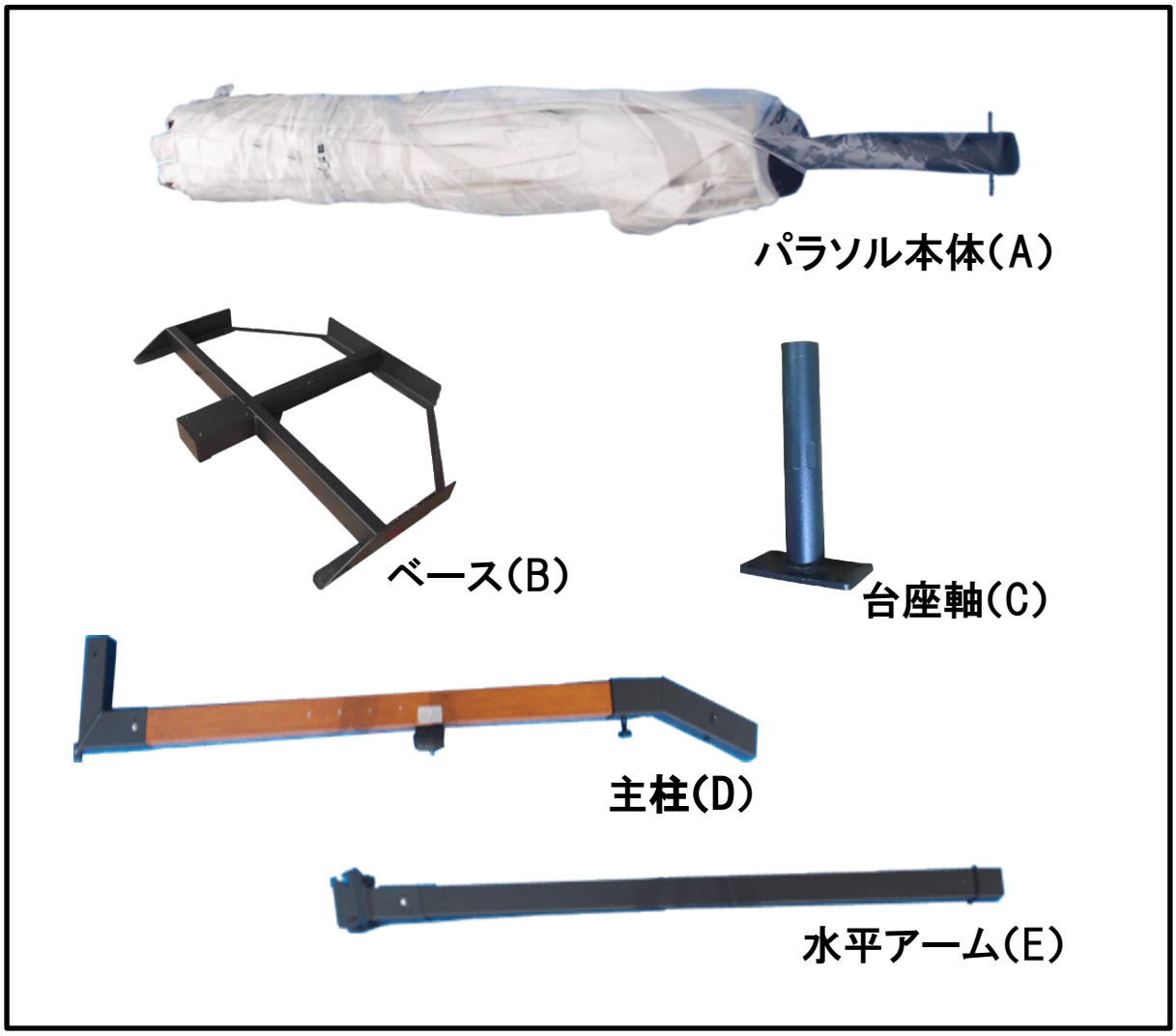
トリノ　クアドラ
トリノ　オッターゴ
ナポリブラッチョ

Torino Quadra
Torino Ottago
Napoli　Braccio

この度は、スコラロパラソルをお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は安全に組み立てて、取り扱うためのものですので、説明書の記載内容に従って下さい。万が一、従われなかった場合には、破損やケガの原因になることがあります。
不明な点がございましたら、当店にお問合せ下さい。

⚠ このマークの付いている説明内容については、特に注意してください。

【部材】



【お客様で用意していただくもの】

・スパナ（13 ミリ・17 ミリ）各 2 本

・脚立　1 台（パラソル本体取付時に使用します。）

・ヘルメット（安全のため着用して下さい。）

【作業人数】

・２人以上で組立作業を行って下さい。

【部品】

名称	数量	写真
キャップネジ(a)	4	
ワッシャー大(b)	6	
寸切ボルト小(c)	1	
ワッシャー小(d)	2	
六角袋ナット小(寸切ボルト小用)(e)	2	
寸切ボルト大(f)	1	
六角袋ナット大(寸切ボルト大用)(g)	2	
黒ネジ小(h)固定リブ用	1	
黒ネジ大(i)主柱固定用	2	
ハンドル(j) ※キャップネジを締める時にも使用します。	1	

【組立手順】

ベース台座と組み立て

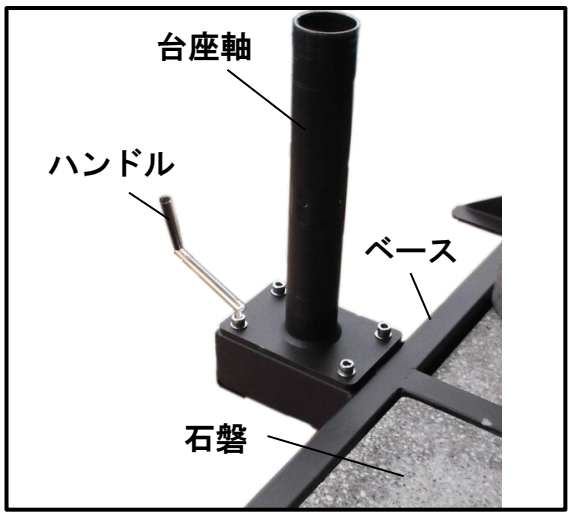


図.1

① 設置する場所が水平であることを確認してください。
② 石磐をベース（B）の上に置きます。
③ ベース（B）の上に台座軸（C）を置きます。（図.1）
④ キャップネジ（a）にワッシャー大（b）を通して、台座にハンドル（j）で左図のように締めます。（初めは緩めに止めて、最後にハンドル（j）でしっかりと締めます。）

主柱の組み立て

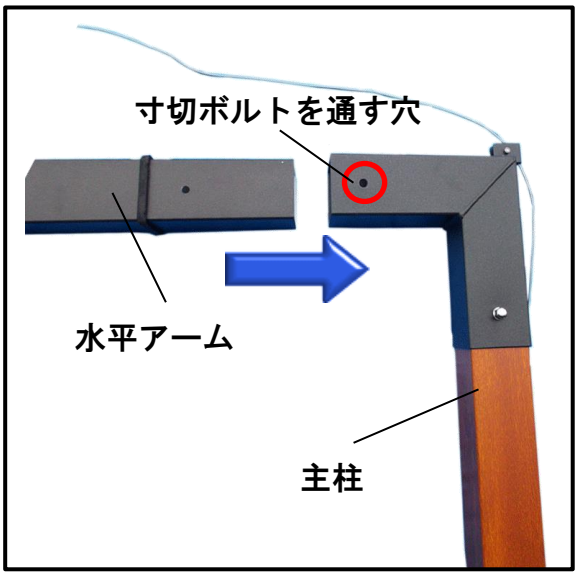
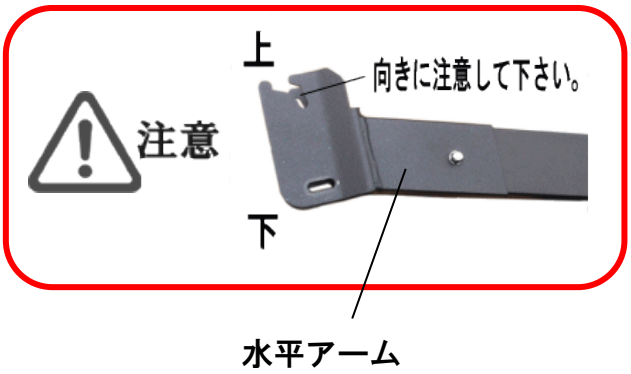


図.2

⑤ 水平アーム（E）を主柱（D）に差し込み、寸切ボルト小（c）を穴に通し、両端よりワッシャー小（d）を入れ、六角袋ナット小（e）をスパナで締めます。（図.2）



支柱の固定

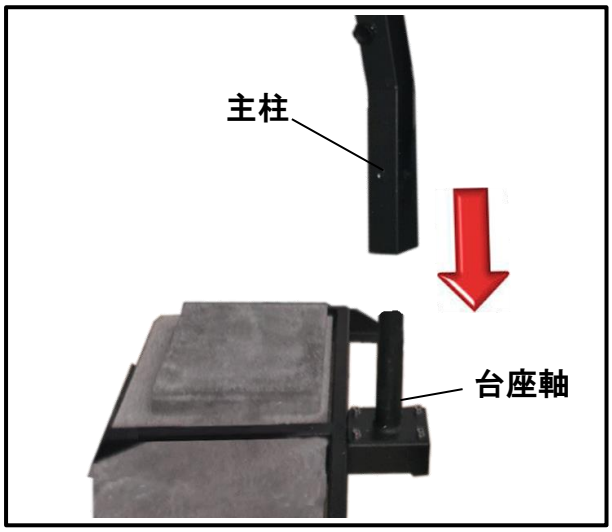


図.3

⑥　台座軸（C）に⑤で組み立てた主柱（D）を差し込みます。（図.3）

注意　**主柱が台座軸の奥まで差込まれたことを今一度ご確認下さい。**

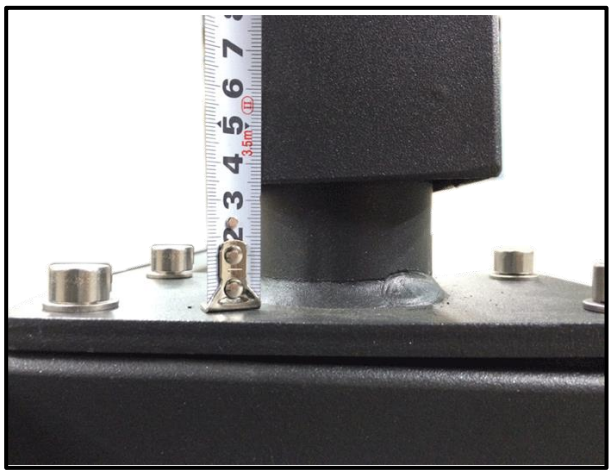


図.4

台座軸（C）に主柱を差込んだ状態で奥まで入っていない場合があります。（図.4）

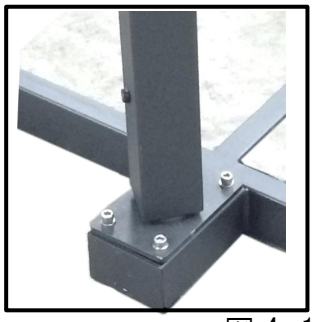


図.4-1

参考：斜め 45°に回すなどするとポールが奥まで入りやすくなります。（図 4-1）

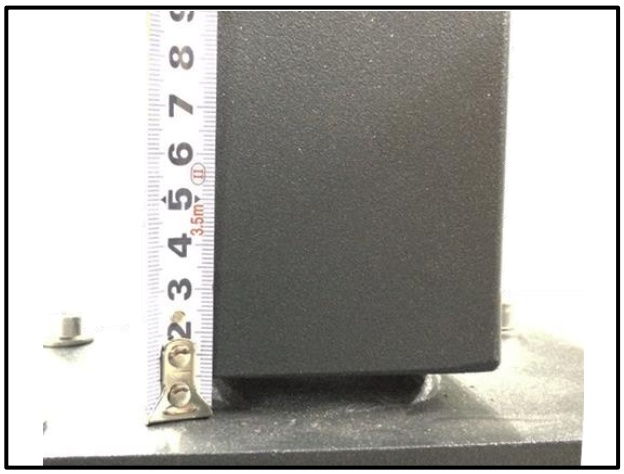


図.5

正しく差込まれていると、図 5 のように台座軸（C）と主柱（D）との間は約 1 cm の隙間が空いた状態になります。（図.5）

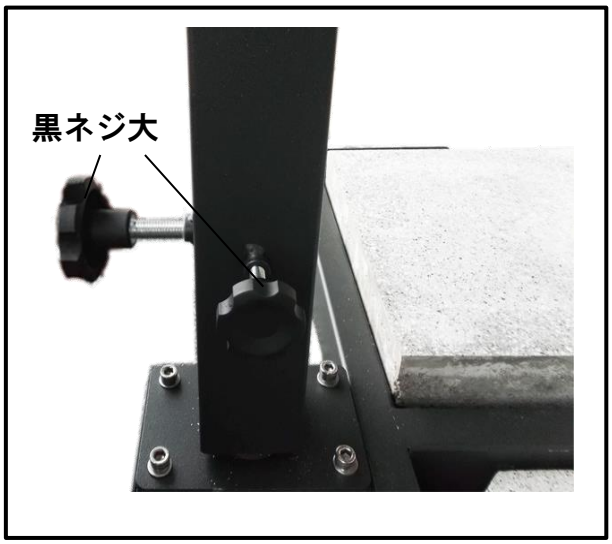


図.6

⑦　支柱（D）下部の 2 ヶ所を主柱が動かないように黒ネジ大（i）でしっかりと固定します。（図.6）

パラソルの取り付け

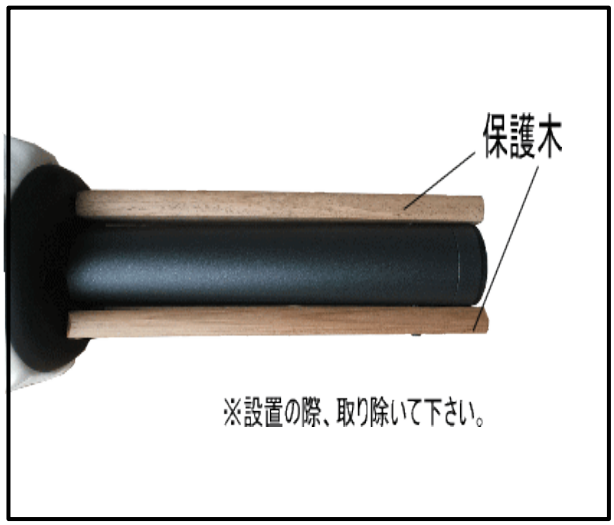


図.7

① パラソル本体（A）の上部にある運送保護用の木（２枚）を取り外して下さい。（図.7）

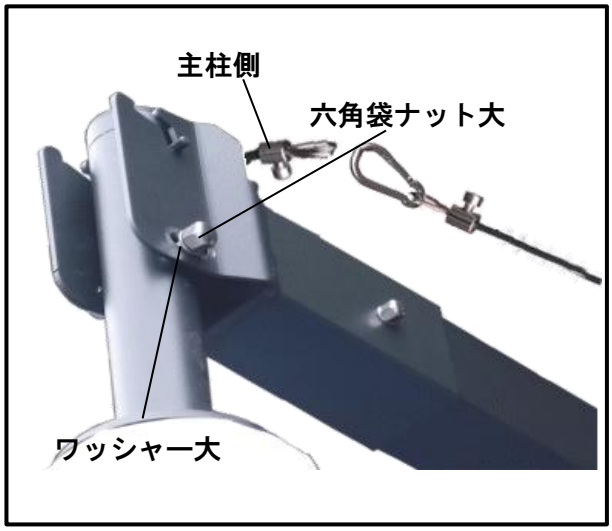


図.8

② パラソル本体（A）を水平アーム（E）の先端に差し込みます。その際に、ワイヤーの留め具が主柱側にくるように注意して下さい。

③ 水平アーム先端部とパラソルのポール部分の穴を合わせ、寸切ボルト大（f）を差し込み、両端よりワッシャー大（b）を入れ、六角袋ナット大（g）をスパナで締めます。（図.8）

注意 **高所作業になりますので、十分お気を受け下さい。**

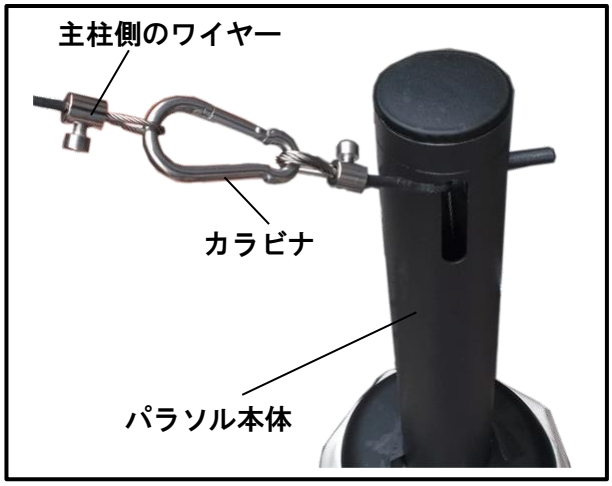


図.9

④ パラソル側の留め具（カラビナ）をコントロールボックスから伸びているワイヤーのリングにかけます。（図.9）

【使用方法】

パラソルの開き方

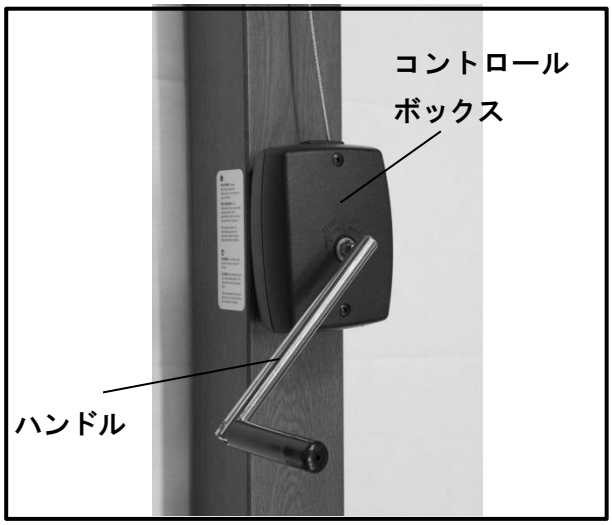


図.10

① パラソルを固定している布製ベルトをほどきます。（図.10-1）
② 骨または布を揺すって、キャンバス部のねじれを取り除きます。
③ 本体主柱部にあるコントロールボックスにハンドル（j）を差し込みます。（図.10）
④ ハンドルをゆっくりと時計方向に回して下さい。
⑤ パラソルが完全に開いたことを確認して下さい。

注意 キャンバス付近に障害物がないことを確認してください。

注意 ワイヤーが常に張っている状態（たるみがない状態）であるように、常に保って下さい。

図.10-1

パラソルの角度調整と回転機能

図.11

① パラソル固定リブを主柱部の好みの位置にネジ穴を合わせて、黒ネジ小（h）で止めて固定します。（図.11）
② リブの３つの穴、支柱の４つの穴の組み合わせによって角度調整が可能です。

パラソルの回転操作

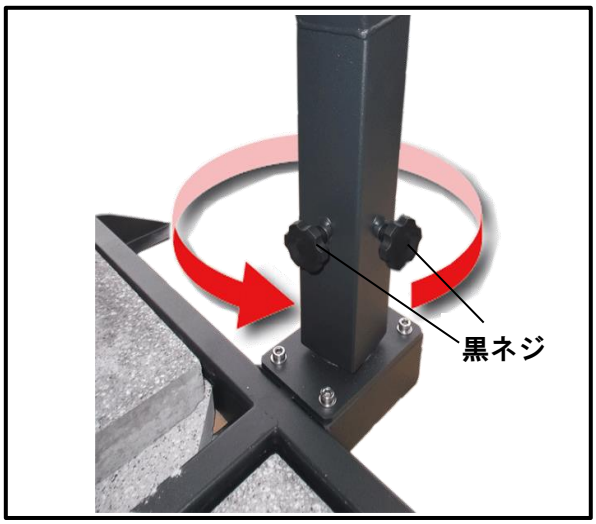


図.12

① 回転操作を行う場合にはパラソルを閉じて下さい。
② 主柱部の黒ネジ大（i）を２か所緩めます。（図.12）
③ 主柱（D）をしっかり持ち、任意の位置まで回転させ、①で緩めた黒ネジ大（i）２ヶ所をしっかりと締めます。

注意 **台座と回転部分がねじでしっかり固定されていることを確認してください。**

ストッパーについて

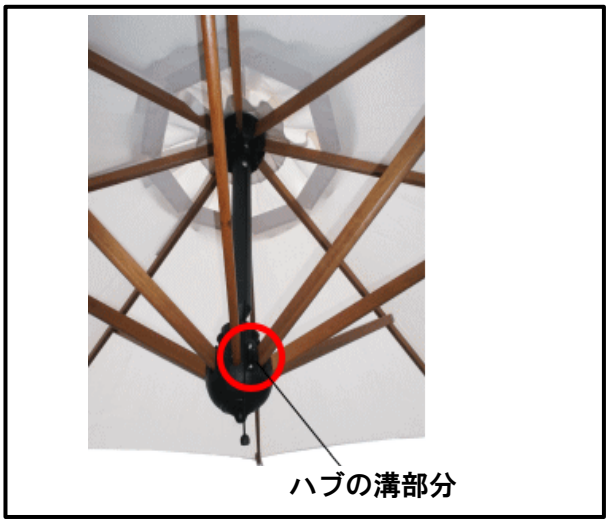


図.13

① 中心部分に下がっているひもをハブの溝部分に強く引っ張りながら差込みます。（図.13）

パラソルの閉じ方

① ひもをハブの溝部分より取り外します。
② パラソル固定リブの黒ネジ小（h）を緩めて外します。
③ 閉じる前にパラソル付近に障害物がないことを確認してください。
④ ハンドルを反時計回りにゆっくり回して、パラソルを閉じて下さい。

注意 **ワイヤーが常に張っている状態（たるみがない状態）であるように、常に保って下さい。**

完成図

＜アフターサービスについて＞

・アフターサービスのご依頼、ご相談は当店までご連絡下さい。
・お取扱いまたはお手入れが適切でない為に生じた補修及び部品交換などは、有償となる場合もありますのでご了承下さい。
・部品の改良の為、予告なく仕様を変更する場合がございますので、予めご了承下さい。
・この商品は正しくお取り付けいただき、ご使用いただかないと予期せぬ対物・人身事故につながる恐れがあります。この説明書をよくお読みいただき正しくご使用下さい。
・この説明書に記載されている内容に従わずに生じました商品故障・事故に関しましては、責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

【製品使用上の注意事項】

柱や骨、キャンバス等に負荷をかけるような重いものを吊り下げるのはお止め下さい。

強風や豪雨、積雪の際にはパラソルを収納して下さい。

化学薬品は変色の原因になりますので、使用しないで下さい。

夜間や外出の際（パラソルが管理できない場合）は、パラソルを収納して下さい。

冬場等において、パラソルが凍結している際にはハンドル操作を行わないで下さい。（解凍を待って操作して下さい。）

パラソルの近くで、火気の使用は十分に注意して下さい。
（火災の原因となります。）

■ お問い合せは

東京ガーデニングスタイル

TOKYO GARDENING STYLE

TEL 059−340−4100